

環自野発第 2209224 号
令和 4 年 9 月 22 日

農林水産省 消費・安全局長 殿

環境省自然環境局長
(公印省略)

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の実施について

自然環境行政の推進につきましては、平素よりご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、当省では、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」に基づき、本年度につきましても、本格的に渡り鳥の飛来が始まる 10 月より、死亡野鳥及びガンカモ類の糞便を検体として高病原性鳥インフルエンザウイルスの保有状況を検査することとしています。

今般、別添のとおり、各都道府県宛に通知しましたので、貴省におかれましても御了知の上、円滑な野鳥の高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の実施につき協力及び関係機関への周知をよろしくお願いいたします。

<本件連絡先>

環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

担当者名：庄司、兼松

TEL：03-5521-8285

Mail：AKANE_SHOJI@env.go.jp

KENTO_KANEMATSU@env.go.jp

各都道府県鳥獣行政担当部局長 殿

環境省自然環境局 野生生物課長
(公印省略)

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の実施について

鳥獣保護管理行政の推進につきましては、平素よりご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本年度につきましても、本格的に渡り鳥の飛来が始まる 10 月より、野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査を進めることとしています。

つきましては、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」（以下、「対応技術マニュアル」という。）を踏まえ、下記の事項についての取組を実施願います。

また、別添のとおり農林水産省消費・安全局長から円滑な防疫対策の実施について協力依頼がありますので、了知の上、適切に対応していただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 野鳥におけるサーベイランスの実施について

対応技術マニュアルに基づき、野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査（死亡野鳥等調査（通年）、糞便採取調査（主に 10 月～12 月））を適切に実施すること。

死亡野鳥等調査にあたっては、海外において高病原性鳥インフルエンザによるカモメ類の大量死がみられていることを踏まえ、今シーズンはカモメ類において高病原性鳥インフルエンザが疑われる場合、1 羽の回収であっても必要に応じて検査を検討すること。

なお、送付いただいた検体より得られたデータについては、野鳥の高病原性鳥インフルエンザの発生状況の分析に使用するほか、環境省が必要と認めた調査研究に検体等を使用させていただくことがあるため、ご承知おきください。

2. 高病原性鳥インフルエンザ発生への備えについて

鳥インフルエンザ発生時には迅速な情報の伝達等が不可欠であることから、緊急時の連絡体制等について整備するとともに、発生時に備えた資機材の配備等について対応技術マニュアルに基づき再度確認すること。

3. 関係機関及び関係部局との連携について

対応技術マニュアルに基づく野鳥のサーベイランスは、関係機関の相互の役割分担のもと実施することから、地方環境事務所等と連携する他、各都道府県におかれても、家畜衛生担当部局や公衆衛生部局等関係部局との連携を密にし、実態を踏まえ適正な体制を構築すること。

4. 感染予防対策について

鳥インフルエンザは、海外においては家きんとの濃厚接触が原因と考えられる人への感染事例が報告されている。日本においては家きんも含め鳥から人への感染は確認されていないが、調査の実施にあたっては、調査の準備と方法、消毒方法、野鳥との接し方等について、改めて対応技術マニュアル、通知類等の情報を関係者で共有し、人への感染、ウイルスの拡散等の防止について、適切な対応が図られるよう留意すること。

<本件連絡先>

環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室 庄司、兼松

TEL : 03-5521-8285

Mail : AKANE_SHOJI@env.go.jp

KENTO_KANEMATSU@env.go.jp

高病原性鳥インフルエンザ・豚熱の 発生状況と疫学調査結果について

農林水産省 消費・安全局 動物衛生課

高病原性鳥インフルエンザ 概要

2021-2022年シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況と疫学調査結果について

1. 我が国の家きんにおけるHPAI発生及び対応

2. 海外におけるHPAIの発生状況



世界における鳥インフルエンザの発生状況

3. 分離されたウイルス株の特徴

4. 発生を踏まえた考察及び提言



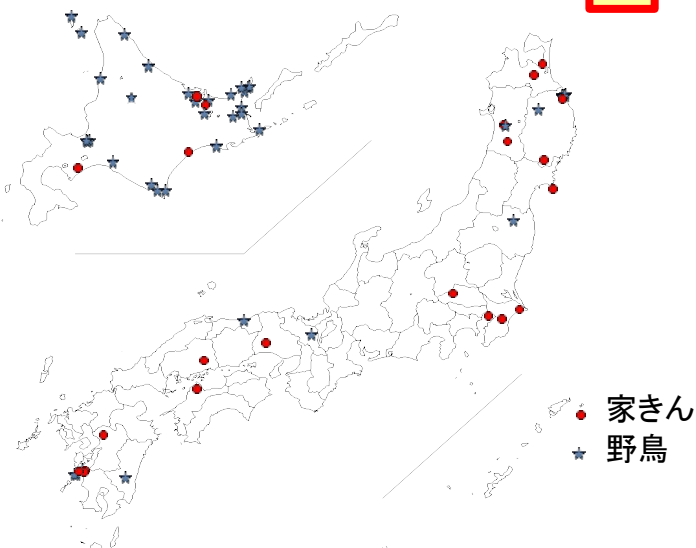
1-1. 今シーズンの国内におけるHPAI発生状況

○家きん 12道県25事例

※羽数の単位は万羽

	地域	疑似患者判定日	用途	羽数	亜型
1	秋田県横手市	11/10	採卵鶏	約14.3	H5N8
2	鹿児島県出水市	11/13	採卵鶏	約3.9	H5N1
3	鹿児島県出水市	11/15	採卵鶏	約1.1	H5N8
4	兵庫県姫路市	11/17	採卵鶏	約15.5	H5N8
5	熊本県南関町	12/3	肉用鶏	約6.7	H5N1
6	千葉県市川市	12/5	あひる(アイガモ)	約0.03	H5N1
7	埼玉県美里町	12/7	採卵鶏	約1.7	H5N1
8	広島県福山市	12/7	採卵鶏	約3.0	H5N1
9	青森県三戸町	12/12	肉用種鶏	約0.7	H5N1
10	愛媛県西条市	12/31	採卵鶏	約13	H5N1
11	愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約8.3	H5N1
12	愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約14.2	H5N1
12関連	愛媛県今治市	1/4	採卵鶏	約0.6	-
13	鹿児島県長島町	1/13	肉用鶏	約5.4	H5N1
13関連	鹿児島県長島町	1/13	肉用鶏	約5.7	-
14	千葉県八街市	1/19	肉用鶏	約6.6	H5N1
15	千葉県匝瑳市	1/26	あひる	約0.17	H5N1
15関連	千葉県匝瑳市	1/26	あひる	約0.12	-
15関連	茨城県かすみがうら市	1/26	あひる	約0.11	-
15関連	埼玉県春日部市	1/26	あひる	約0.14	-
15関連	埼玉県熊谷市	1/26	あひる	約0.04	-
16	岩手県久慈市	2/12	肉用鶏	約4.5	H5N1
17	宮城県石巻市	3/25	肉用種鶏	約3.2	H5N1
18	青森県横浜町	4/8	肉用鶏	約17	H5N1
19	青森県横浜町	4/15	肉用鶏	約11	H5N1
20	北海道白老町	4/16	採卵鶏	約52	H5N1
21	北海道網走市	4/16	だちょう(エミュー)/採卵鶏	約0.05/約0.01	H5N1
22	秋田県大仙市	4/19	採卵鶏	約0.04	H5N1
23	北海道釧路市	4/26	だちょう(エミュー)	約0.01	H5N1
24	岩手県一関市	5/12	だちょう(エミュー)	約0.001	H5N1
25	北海道網走市	5/14	採卵鶏	約0.08	H5N1

4月以降の発生



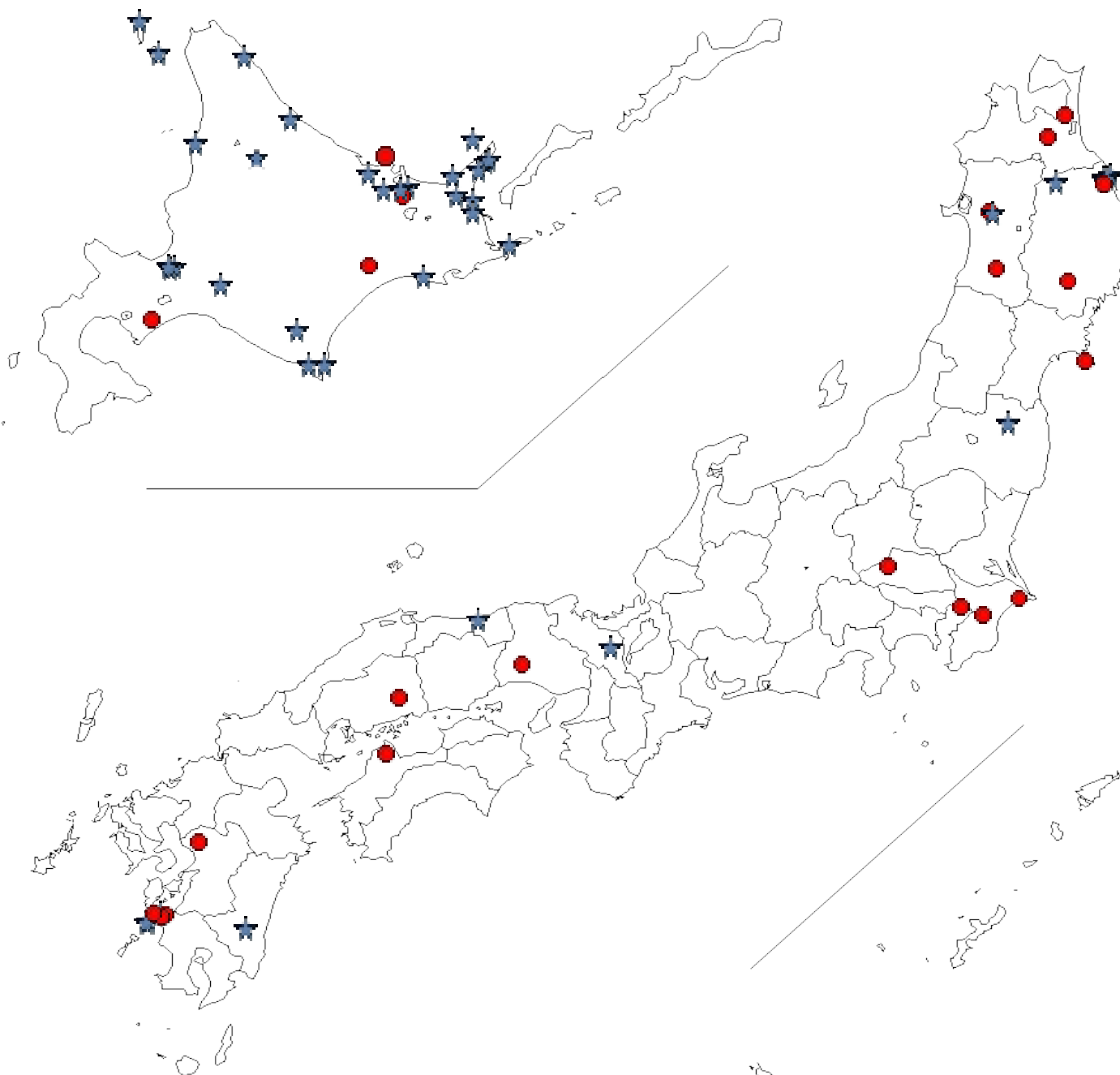
家きん
野鳥

○野鳥 8道府県107事例

検体回収場所	検体回収日	種名	亜型	検体回収場所	検体回収日	種名	亜型
1 鹿児島県出水市	11/8	環境試料(水)	H5	55 北海道羅臼町	3/9	ハシブトガラス	H5N1
2 宮崎県宮崎市	11/9	糞便	H5N1	56 岩手県久慈市	3/14	ハシブトガラス	H5N1
3 鹿児島県出水市	11/19	ナベヅル	H5N8	57 北海道浜頓別町	3/14	ハシブトガラス	H5N1
4 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	H5N8	58 北海道根室市	3/14	ハシブトガラス	H5N1
5 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	H5N8	59 北海道羅臼町	3/14	ハシブトガラス	H5N1
6 鹿児島県出水市	11/29	環境試料(水)	H5N8	60 岩手県八幡平市	3/18	オオハクチョウ	H5N1
7 鳥取県鳥取市	12/1	環境試料(水)	H5N8	61 北海道佐呂間町	3/22	オジロワシ	H5
8 鹿児島県出水市	12/6	環境試料(水)	H5N8	62 北海道美幌町	3/24	オジロワシ	H5
9 鹿児島県出水市	12/20	環境試料(水)	H5N1	63 岩手県久慈市	3/23	ハシブトガラス	H5N1
10 北海道苫前町	1/2	オジロワシ	H5N1	64 北海道札幌市	3/29	ハシブトガラス	H5N1
11 鹿児島県出水市	1/10	環境試料(水)	H5N8	65 北海道羅臼町	3/29	オオワシ	H5N1
12 北海道根室市	1/20	ハシブトガラス	H5N1	66 岩手県久慈市	3/31	ハシブトガラス	H5N1
13 北海道根室市	1/23	ハシブトガラス	H5N1	67 北海道札幌市	3/31	ハシブトガラス	H5N1
14 北海道雄武町	1/23	オジロワシ	H5	68 北海道札幌市	4/1	ハシブトガラス	H5N1
15 北海道小清水町	1/22	オオワシ	H5	69 北海道釧路市	3/31	ハシブトガラス	H5N1
16 京都府京都市	1/27	ノスリ	H5N1	70 岩手県久慈市	4/6	ハシブトガラス	H5N1
17 北海道根室市	1/28	ハシブトガラス	H5N1	71 北海道札幌市	4/2	ハシブトガラス	H5N1
18 北海道根室市	2/3	ハシブトガラス	H5N1	72 北海道羅臼町	4/4	ハシブトガラス	H5N1
19 北海道えりも町	2/2	オジロワシ	H5	73 北海道えりも町	4/9	オジロワシ	H5
20 北海道えりも町	2/7	ハシブトガラス	H5N1	74 北海道釧路市	4/6	ハシブトガラス	H5N1
21 北海道えりも町	2/8	ハシブトガラス	H5N1	75 北海道北見市	4/6	ハシブトガラス	H5N1
22 北海道標津町	2/8	ハシブトガラス	H5N1	76 北海道興部町	4/8	ハシブトガラス	H5N1
23 北海道斜里町	2/8	ハシブトガラス	H5N1	77 北海道北見市	4/8	ハシブトガラス	H5N1
24 岩手県久慈市	2/8	オオハクチョウ	H5N1	78 北海道札幌市	4/9	ハシブトガラス	H5N1
25 北海道羅臼町	2/10	オジロワシ	H5N1	79 北海道むかわ町	4/12	クマタカ	H5N1
26 岩手県久慈市	2/11	ハシブトガラス	H5N1	80 北海道札幌市	4/4	ハシブトガラス	H5N1
27 岩手県久慈市	2/13	ハシブトガラス	H5N1	81 北海道札幌市	4/4	ハシブトガラス	H5N1
28 北海道羅臼町	2/14	ハシブトガラス	H5N1	82 北海道札幌市	4/4	ハシブトガラス	H5N1
29 北海道根室市	2/14	ハシブトガラス	H5N1	83 北海道札幌市	4/5	ハシブトガラス	H5N1
30 岩手県久慈市	2/14	オオハクチョウ	H5N1	84 北海道羅臼町	4/9	ハシブトガラス	H5N1
31 北海道利尻富士町	2/15	ハシブトガラス	H5N1	85 北海道大空町	4/9	オジロワシ	H5N1
32 岩手県久慈市	2/15	オオハクチョウ	H5N1	86 北海道斜里町	4/9	ハシブトガラス	H5N1
33 岩手県久慈市	2/16	オオハクチョウ	H5N1	87 北海道釧路市	4/12	ハシブトガラス	H5N1
34 福島県二本松市	2/18	マガモ	H5	88 北海道北見市	4/11	ハシブトガラス	H5N1
35 北海道根室市	2/18	ハシブトガラス	H5N1	89 北海道札幌市	4/13	ハシブトガラス	H5N1
36 岩手県久慈市	2/17	オオハクチョウ	H5N1	90 北海道羅臼町	4/11	ハシブトガラス	H5N1
37 岩手県久慈市	2/17	ハシブトガラス	H5N1	91 北海道網走市	4/15	オジロワシ	H5
38 岩手県久慈市	2/12	マガモ	H5N1	92 北海道中標津町	4/18	ヒシクイ	H5N1
39 岩手県久慈市	2/21,22	ハシブトガラス	H5N1	93 北海道浜頓別町	4/19	オジロワシ	H5
40 北海道標津町	2/19	ハシブトガラス	H5N1	94 秋田県大仙市	4/19	ハシブトガラス	H5N1
41 岩手県久慈市	2/21	オオハクチョウ	H5N1	95 北海道礼文町	4/15	オジロワシ	H5N1
42 岩手県久慈市	2/22	ハシブトガラス	H5N1	96 北海道礼文町	4/20	ハシブトガラス	H5N1
43 岩手県久慈市	2/22	オオハクチョウ	H5N1	97 北海道様似町	4/20	クマタカ	H5N1
44 岩手県久慈市	2/24	ノスリ	H5N1	98 北海道紋別市	4/22	ハシブトガラス	H5N1
45 岩手県久慈市	2/24	ハシブトガラス	H5N1	99 北海道えりも町	4/26	オジロワシ	H5
46 岩手県久慈市	2/25	トビ	H5N1	100 北海道札幌市	4/28	ハシブトガラス	H5N1
47 北海道標津町	2/24	ハシブトガラス	H5N1	101 北海道羅臼町	4/25	オジロワシ	H5
48 岩手県久慈市	2/28	カルガモ	H5	102 北海道釧路市	4/29	トビ	H5
49 岩手県久慈市	3/1	ハシブトガラス	H5N1	103 北海道大空町	4/18	オジロワシ	H5N1
50 北海道礼文町	3/1	ハシブトガラス	H5N1	104 北海道北見市	5/6	オジロワシ	H5N1
51 北海道佐呂間町	3/3	オジロワシ	H5	105 北海道羅臼町	4/25	ハシブトガラス	H5N1
52 北海道根室市	3/1	ハシブトガラス	H5N1	106 北海道根室市	5/6	オジロワシ	H5N1
53 岩手県久慈市	3/4	ハシブトガラス	H5N1	107 北海道美幌町	5/14	オジロワシ	H5N1
54 北海道北見市	3/8	オオワシ	H5				

※詳細は環境省https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

1-2. 今シーズンの国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況



	家きん	野鳥(環境)
初発	11/30 秋田県	11/8 鹿児島県 (環境試料: 水)
最終	5/14 北海道	5/14 北海道 (オジロワシ)
範囲	12道県	8道府県
事例	25事例 約189万羽	107事例
	4月以降 8事例	4月以降 39事例※

※うちカラスが24例、猛禽類14例



感染したマガンを採食するハシブトガラス

● 家きんの発生事例

★ 野鳥での確認事例³

1-3. 発生農場の概要(疫学調査報告書、参考資料より)

事例	周辺状況	隣接水域の有無 (約100m内)
1例目	平野部:ため池、水田	鶏舎間に水場
2例目	平野部:畑、草地	水路(約50m)
3例目	平野部:林、水田	—
4例目	山間部:雑木林、竹	ため池(約50m)
5例目	丘陵上部:竹・杉林	—
6例目	鴨場	池(約40m)
7例目	丘陵・平野部:田畑	河川(隣接)
8例目	丘陵中腹:雑木林、田畑	ため池(隣接)
9例目	丘陵部:森林・水田	—
10例目	干拓地:草地、麦畑	水路、海
11例目	干拓地:草地、麦畑	水路、海
12例目	干拓地:草地、麦畑	水路、海
13例目	海沿いの岬:林、果樹園	海岸(間に海食崖)
14例目	下総台地上:竹林、畑	排水路
15例目	平野部:水田	排水路

事例	周辺状況	隣接水域の有無 (約100m内)
16例目	里山の麓:雑木林、水田	河川
17例目	海食崖に近い山の斜面	—
18例目	砂丘帯:森林、草地	農場内に調整池
19例目	砂丘帯:森林、草地	農場内に沈殿池
20例目	河岸段丘:牧場、河畔林	池(隣接)
21例目	川沿い丘陵地:畑	—
22例目	平野部:水田、雑木林	池
23例目	海岸に近い湿地帯:林	—
24例目	森、草地	—
25例目	湖岸:雑木林、牧草地	—

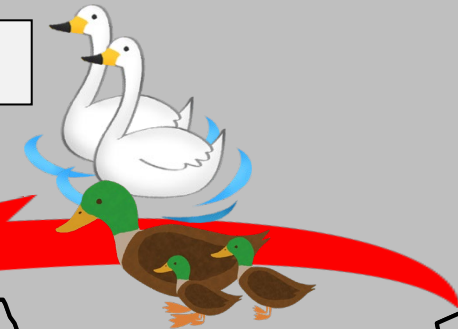
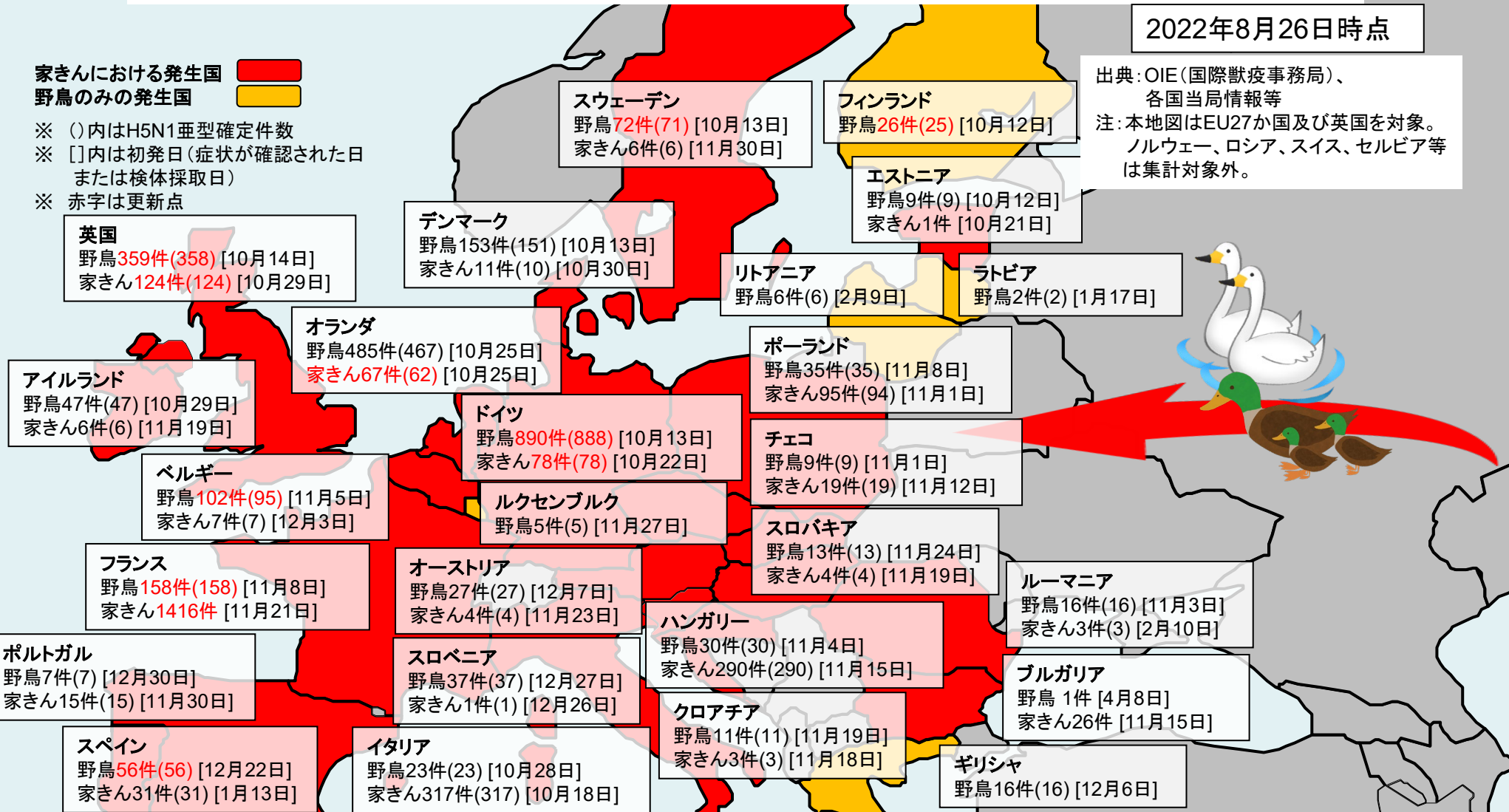
欧州における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2021年10月以降)

2022年8月26日時点

家きんにおける発生国 ■
野鳥のみの発生国 ■

※ ()内はH5N1亜型確定件数
※ []内は初発日(症状が確認された日
または検体採取日)
※ 赤字は更新点

出典: OIE(国際獣疫事務局)、
各国当局情報等
注: 本地図はEU27か国及び英国を対象。
ノルウェー、ロシア、スイス、セルビア等
は集計対象外。



【今シーズンの発生に関するFAO(国連食糧農業機関)の見解】
ヨーロッパ西部で渡り鳥にH5亜型のHPAIが確認されており、渡り鳥の飛行ルート上にある国では侵入リスクが高い。
9月中旬にロシア南東部の野鳥からH5N1 HPAIが検出されたのを皮切りに、ウイルスが西方に移動していることが報告されている。

【今シーズンの発生に関するEC(欧州委員会)の見解】
夏にロシアのカザフスタン国境付近の野鳥及び家きんにおいてH5N1 HPAIが発生。
9月末にチェコで確認されたH5N1ウイルスは、2021年の春から夏に欧州で確認されたH5N1ウイルスとは異なる遺伝子型であった。